

## コロナ後遺症に経済支援を 患者ら、署名呼びかけ

3/13 共同通信



新型コロナウイルス感染症の後遺症に苦しむ当事者らの団体「全国コロナ後遺症患者と家族の会」が、国の経済支援などを求め、インターネットで賛同の署名を募っている。会代表で40代の伊藤みかさん（仮名）は「社会が平常に戻る中、後遺症の患者は置き去りにされている」と強調。署名活動は15日までで、国への提出を目指す。

今月10日、会のメンバーは東京都のJR渋谷駅前でも署名への協力を呼びかけた。倦怠感のため保育士を辞め、5分以上続けて歩くこともできないという30代女性は「苦しんでいる人は大勢いる」と涙ながらに訴えた。

会によると、仕事ができずに困窮するケースが多く、傷病手当金延長や社会保険料減免を要望。後遺症に対応する医療機関の拡充や、スムーズに職場復帰するための企業への啓発も求めている。

多数の患者を診察し、署名活動をサポートするヒラハタクリニック（東京）の平畑光一院長は「国はもっと対策を打つ必要がある」と話す。

署名サイトのURLは <https://voice.charity/events/641>

### ■ 活動立ち上げの背景・理由

2023年11月、今なお、長きに渡るコロナ後遺症と向き合う仲間がX（旧ツイッター）上で現状を打開する為に、自分たちも後遺症の治療をしながら、同年同月17日に10名の国会議員（厚労大臣、文科大臣含む）へ議員要請を行いました。

『長期休職や退職に伴う生活保障や支援体制を整備して下さい。』『傷病手当金がもうす

ぐ切れるので復職するが、会社がコロナ後遺症を理解して業務量を段階的にするなど配慮してくれるか不安』『社会復帰したが、後遺症という事でペーシング（無理をしない）をしながら受け入れてくれたが周りの皆に申し訳ない』『子どもの進学が心配でしかたがない』など自分たちの課題と沢山のコロナ後遺症の方々のお声を重ねて、要請書の作成と X に次々と寄せられるお声を私たち共同代表が届けてまいりました。

その背景として、コロナ後遺症患者で苦しむ患者の中には、長期休職や退職を余儀なくされる人が多くいます。コロナ後遺症では傷病手当金の申請（社会保険加入者のみ）や、労災保険給付（業務中や通勤中の感染経路がある程度証明できる場合のみ）がありますが、いずれの条件にも該当しない人には何の保障もありません。休職や退職をした患者には、審査までの生活費や医療費の負担は非常に大きく、やむを得ず重い症状が残ったまま求職や復職をする人もいます。こうした患者が回復に向けて安心して療養できるよう、経済的な支援を求めています。

また、倦怠感やブレインフォグ、脳疲労がある患者は、自力での書類作成や申請が困難な場合が多いこともあり、この窮状を共同代表で届けるに至った経緯がありました。

※2024年1月7日に X のスペース上で Long COVID における経済的支援について、座談会を開催しました。患者当事者の皆様によるリアルなお声を知っていただけると幸いです。経済的支援についての座談会（こちらをクリック下さい）

#### ■ 社会がかかえる問題点は何か？

新型コロナウイルス感染症は、2023年5月に感染症法2類から5類への引き下げとなり、岸田総理からは「平時への移行を進める」との発言が施政方針演説の中でありました。しかし、未だ医療現場では大変な状況が続いています。病院によっては発熱患者の受け入れを断られることもあり、一部の病院に患者が集中するなどの事態が今なお起きています。コロナ罹患後、一定の割合で発症するコロナ後遺症患者は、統計によると3.3人に1人、または2人に1人とも言われ非常に高い発生率となっています。

このような高い発生率の「コロナ後遺症」であるにもかかわらず、社会における認知度は未だ低く、疾病理解のなさや病態そのものの否定により、患者の多くが心無い発言を受けるなどのハラスメント経験を持っています。（学校、職場、また家族や医療機関も然り。）後遺症患者が受診できる医療機関も少なく、限られた病院に患者が殺到するという状況が続いています。各都道府県のHPにおいて、罹患後症状を診察する医療機関一覧に掲載されている病院であっても、実際には診療を渋られたという患者の声を聞くことも珍しくありません。

たとえ自分の周囲にいなくても、世界で少なくとも6500万人、日本でも糖尿病に匹敵する約300万人規模との推計もあります。これだけメジャーで深刻なコモンディーズ（日常的に高頻度で遭遇する疾患、有病率の高い疾患のこと）ともいえる疾患なのだから、政治には、党派を超えた対応を是非期待します！

11月17日にコロナ後遺症患者として初の国会議員要請を行い、10日後に参議院予算委員会での質疑と答弁に至りました。岸田総理：『厚労省中心に実態調査や解明のもと内閣としても取り組んでいく』。

参議院予算委員会（2023/11/27）岸真紀子議員 コロナ後遺症に関する質疑応答（文字をクリックお願いします）

参議院予算委員会 (2023/3/18) 宮口治子議員 コロナ後遺症に関する質疑応答(約2分間の動画です)



<https://voice.charity/events/641>